

事業	事務事業名	交流推進費(多文化共生・国際交流)				担当部署	部名	市長政策室	
001							課名	政策推進課	
							電話	57-1623	
総合計画	施策の大綱	第2部 だれもがいきいきと輝くまち			予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第3章 交流で輝くまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第2節 国際交流の推進						目	企画費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等									
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	8	頁	個別計画			

事業目的	対象(誰を・何を)	全市民及び市内在住外国人
事業内容	意図(どのような状態に)	多言語による行政情報の発信を行い、市内在住外国人にも分かりやすい行政サービスの充実を図る。また、射水市民国際交流協会を拠点として、草の根レベルでの交流を進め、国際交流・国際理解を深める。
	手段(どのような方法で)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流員(CIR)の配置</li> <li>多文化こどもサポートセンター(放生津・太閤山)の運営</li> <li>ポルトガル語困りごと・生活相談の実施</li> <li>市内在住の留学生に対する国民健康保険加入料の助成</li> <li>日口沿岸市長会等、各種国際交流団体との連絡調整</li> </ul>

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	こどもサポートセンターを県、市以外のコーディネーター及びサポーターで運営している割合(放生津)	%	0	50	52.2	104.4	100
	こどもサポートセンターを県、市以外のコーディネーター及びサポーターで運営している割合(太閤山)	%	0	0	0	0.0	50

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	コスト	直接事業費	6,831 千円	7,941 千円	16.2	6,409 千円
財源内訳	人件費	6,969 千円	6,188 千円	11.2	4,760 千円	
	退職手当引当金相当額	1,010 千円	910 千円	9.9	700 千円	
	事業コスト計	14,810 千円	15,039 千円	1.5	11,869 千円	
	国県支出金	千円	610 千円	皆増	459 千円	
	その他	112 千円	千円	皆減	千円	
	一般財源	14,698 千円	14,429 千円	1.8	11,410 千円	
	当該事務従事職員数	1.01 人	0.91 人	9.9	0.70 人	

評価項目	点数	説明
必要性	3	国際交流員による学校訪問は、子どもたちの国際感覚を養う上で有効な手段であると考えられる。また、市の人口の2パーセントを超える外国人が在住している状況からも多文化共生は必要不可欠な課題である。
有効性	3	県及びとやま国際センターの支援を受けながら行政情報を多言語で紹介することにより、外国人の生活支援に貢献している。また、こどもサポートセンターでは、外国人児童や生徒の教育面でのサポートも実施している。
達成度	3	県が設置する2箇所目のこどもサポートセンターが9月設置予定であったものが10月開設となったものの、予定していた事業はほぼ達成された。
効率性	4	民間委託(CIR業務)できるものは実施済みであり、サポートセンターの運営も民間主体で行うなど効率性を高めている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>2箇所あるサポートセンターの見直しするとともに、市民や民間団体によるサポート事業への支援体制の確立</li> <li>各種国際交流団体との関連の整理</li> </ul>

事業 002	事務事業名	射水市イメージアップ事業費				担当部署	部名	市長政策室	
							課名	政策推進課	
						電話	57-1623		
総合計画	施策の大綱	第5部 みんなで創る ひらかれたまち			予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第2章 わかりやすいまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第1節 射水らしさの創出						目	企画費
事業開始・終了年度		平成 18 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等									
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	20	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	全市民
	意図 (どのような状態に)	市民憲章、市民の歌等を通じ、市民の一体感を醸成するとともに、県内外に向け射水市を発信し、市のイメージアップを図る。
事業内容	手段 (どのような方法で)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市章の管理及び市民憲章、市民の歌の普及啓発</li> <li>「水きららか音頭」の普及</li> <li>市の花、木、花木及びびさかなの普及啓発</li> <li>射水市サイン計画の管理運営</li> </ul>

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
				「水きららか音頭」講習会実施団体数	団体	0	

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	直接事業費		1,870 千円	517 千円	72.4	1,960 千円
	人件費		4,761 千円	952 千円	80.0	4,556 千円
	退職手当引当金相当額		690 千円	140 千円	79.7	670 千円
	事業コスト計		7,321 千円	1,609 千円	78.0	7,186 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	7,321 千円	1,609 千円	78.0	7,186 千円
当該事務従事職員数			0.69 人	0.14 人	79.7	0.67 人

評価項目	点数	説明
必要性	4	市民の心のよりどころとなる市民憲章や射水市民の歌などは、市民の中に広く浸透するよう継続して普及啓発に努めるべきものであり、市民の一体感を醸成するためにも必要である。
有効性	3	公共施設に市民憲章や市民の歌を掲示し、市民への普及に努めている。また、小中学校や保育園に市の花・木等を植樹し、子どもの時から接することで、より一層市民の中に普及するよう努めている。
達成度	3	市民の歌の普及を目的として、平成20年11月に射水市民の歌「水きららか音頭」を発表した。昨年は、3団体に対し、創作者の和田朝子氏による踊り方指導を実施した。
効率性	4	事業費は、花・木等の苗代や講師謝礼のみである。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	今後も、市民憲章、市民の歌、市の花・木等の普及啓発に努める。 また、市内に訪れる人が、目的地や各施設が分かりやすいよう、サイン計画の管理運営に努める。